

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 気候変動に耐え得る新たな大気観測網の構築
2. 研究代表者： 藤田 実季子（海洋研究開発機構 地球環境部門 主任研究員）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、大気構造の高頻度観測を目的とした気候変動に耐え得る新たな観測網の構築に関して、衛星測位システム衛星（GNSS）の受信データから大気鉛直構造や安定度の推定手法を開発し、リアルタイムでの監視を目指す研究である。フェーズ1では、線状降水帯発生時の水蒸気鉛直構造を推定するなど、計画どおりの成果が得られた。大気水蒸気・気温プロファイルを推定するための機械学習モデルを構築・検証した点は評価できる。フェーズ2では、より詳細なモデルへの拡張について、気候変化の調査やリアルタイムデータの取得により、推定精度を高めていくことが期待できる。また、本手法の移動体観測への拡張、他の衛星との組み合わせなど、発展が期待できる研究計画であり、サイエンス、社会実装両面での発展を期待する。

以上